

秦野市義務教育施設と地域施設の複合化事業に係る 公募による公民連携課題解決型対話 実施結果

平成 26 年 3 月 13 日 教育総務課作成

1 はじめに

秦野市義務教育施設と地域施設の複合化事業に係る公募による公民連携課題解決型対話に対して、3社と1グループから参加申込書が提出され、対話に参加いただきました。

今回は、非常に短い検討期間にも関わらず、それぞれ特色のある提案をいただくことができました。対話に参加され貴重な時間を費やし、真摯に取り組んでいただいた参加者各位の御努力と熱意に対しあらためて感謝を申し上げます。

2 対話実施のスケジュール

平成25年12月11日	公民連携課題解決型対話実施要領 公表
平成25年12月25日	説明会、現地見学会 開催（参加8社）
平成26年1月10日	追加説明会、現地見学会 開催（参加9社）
平成26年2月10日・12日	公民連携課題解決型対話実施

3 参加事業者（五十音順）

- ・株式会社コナミスポーツ&ライフ様
- ・大成有楽不動産株式会社様
- ・日本PFIインベストメント株式会社様（代表企業）、株式会社学研ホールディングス様（グループ構成企業）
- ・株式会社ファミリーマート様

4 評価方法

提出された事前ヒアリングシート、及び平成26年2月10日、12日に実施した対話内容について、次ページの表に掲げる評価基準に基づき、庁内に設置された評価委員会で審議を行いました。

評価については、項目ごとに2段階（良・可）評価を行いました。

○ 評価基準

評価項目	評価の視点
① 事業の理解度・実現可能性	<p>ア 本事業の趣旨が理解されているか。</p> <p>イ 本事業の目的を十分に理解した上で、複合施設整備のあり方や考え方などが理解されているか。</p> <p>ウ 公共施設再配置計画におけるシンボル事業として適切であるか。</p> <p>エ これまでの枠にとらわれない、新しい公共と民間の連携のあり方や考え方の提案がされているか。</p> <p>オ 法制度上の課題、権利形態、実施体制などで実現可能であるか。</p> <p>カ 民間による導入機能が、市場動向、収支等を踏まえて事業として成立するか。</p>
② 市民の利便性の向上	<p>ア 質の高い公共サービスの提供により、市民サービスが向上するか。</p> <p>イ 民間事業の導入により、利便性等市民サービスが向上するか。</p> <p>ウ 民間事業の導入により、公共施設との相乗効果を図ることができるか。</p>
③ 学校教育への寄与	<p>ア 導入機能によって、学校教育の充実を図ることができるか。</p> <p>イ 民間活力導入により、学校施設の機能向上や安全性の向上を図ることができるか。</p>
④ 地域コミュニティへの寄与	<p>ア 学校を中心とした地域コミュニティの拠点が形成できるか。</p> <p>イ 施設の機能集約により世代を超えた交流を図ることができるか。</p> <p>ウ 当該施設を核とした賑わいが創出されるか。</p> <p>エ 地域の活性化や市内経済の波及効果が期待できるか。</p>
⑤ その他	<p>ア 事業手法、評価の考え方等への提案について独</p>

	<p>自性・創造性等があるか。</p> <p>イ 施設の建設、維持管理・運営について、効率的に実施できるか。</p> <p>ウ 本事業以外の事業の取組みが可能であるか。</p> <p>エ 市職員の業務の軽減を図ることができるか。</p>
--	--

5 評価結果

A 社（評価点：4 点 / 5 点中）

良と評価した項目	評価内容
① 事業の理解度・実現の可能性	様々な事業の提案がなされており、かつ民間事業者へのヒアリングを加味した提案であったことから、実現の可能性が高いと評価しました。また、民間機能の事業方式について、事業の採算性を踏まえ、積極的な提案がなされている点を評価しました。
② 市民の利便性の向上	提供される多様なサービスにより、市民の利便性が向上する点を評価しました。
③ 学校教育への寄与	提供されるサービスのコンテンツが豊富であり、市として、今後取り組みが必要な事業に対して提案されている点を評価しました。
⑤ その他	コンソーシアム組成やマネジメントの実績を持ち、事業実施において市の取り組みに柔軟に対応できる点を評価しました。

B 社（評価点：3 点 / 5 点中）

良と評価した項目	評価内容
① 事業の理解度・実現の可能性	現在の西中学校、西公民館等では実施していない新たなサービスが提案されていることに加え、他自治体における取り組み等に基づき、市場動向を加味した提案であることから、実現の可能性が高い点を評価しました。

② 市民の利便性の向上	提案された導入機能により、市民の利便性が向上する点、整備予定である公共施設と民間機能の相乗効果が高く、公共施設を有効に活用できる提案である点を評価しました。
④ 地域コミュニティへの寄与	提案された導入機能により、施設周辺において賑わいが創出される点、及び導入される民間機能により、地域住民を対象とした雇用が生まれる点を評価しました。

C 社（評価点：2 点 / 5 点中）

良と評価した項目	評価内容
① 事業の理解度・実現の可能性	現在の西中学校、西公民館等では実施していない新たなサービスが提案されていますが、これまでの実績を踏まえた提案であることから、実現の可能性が高い点を評価しました。
⑤ その他	今後の市の公共施設に関する様々な取り組みに対して、柔軟な対応が可能な点を評価しました。

D 社（評価点：1 点 / 5 点中）

良と評価した項目	評価内容
⑤ その他	公共施設の新しい管理方法に関する実績を持ち、将来的に同手法の採用を検討する可能性がある点、一括発注のメリットを得ながら、リスクを分担する事業選定方式が提案されている点を評価しました。

※ 社名及び対話内容の詳細は、秦野市情報公開条例第 6 条第 2 号に該当する情報であるため、非公開となりますので、御理解をお願いいたします。

事務担当は、教育総務課複合施設計画担当です。

〒257-8501 秦野市桜町一丁目 3 番 2 号

Tel 0463-82-5122（公共施設再配置推進課内）

Mail:koukyousisetu@city.hadano.kanagawa.jp